

第1回中国国際輸入博覧会まで残り70日

洲澤 輝

今年の11月5日～11月10日の計6日間、上海市で開かれる第一回中国国際輸入博覧会まで残り70日を切りました。この博覧会はハッピーメール4月号でも取り上げたとおり、中国政府が全世界に向けて積極的な市場開放を主導する一大イベントとなっています。現在の出展状況は130カ国以上の国と地域が参加し、その中から2,800社を超える企業が出展します。出展する日本企業が取り扱う商品は、ダイエット米(麺)、おもちゃ、サプリメント、空気清浄機、鍋、化粧品など様々な商品があります。

また、会場には「中国館」が設けられ、ナレーションを通じて中国の輸入の歴史を知ることが出来ます。

現在、会場周辺の交通環境の整備が進んでおり、乗用車の駐車場確保や道路標識の設置、更には地下鉄やバスなどを活用するプロジェクト案が作成されています。

＜来場バイヤーについて＞

博覧会に来場する中国国内外のバイヤー数は元々15万人を目標に計画が立てられていましたが、すでにその数を超え、約16万人の申し込みが受け付けられており、さらに伸び続けています。また、来場バイヤーが現時点で関心を持っている展示エリアの数値が発表されました。

展示エリア (7部門)	興味を持つ バイヤーの割合
人工知能、ハイエンド装備	23%
消費電子、家電	20%
自動車	7%
服飾、日用消費財	23%
食品、農産物	18%
医療器械、医薬品	8%
サービス貿易	24%

サービス貿易や服飾、日用品、人工知能、ハイエンド装備などに関心が集まっていることが見て取れます。

＜周到的な準備を＞

皆様の中にはこの博覧会へ参加、若しくは視察を予定されている方がいらっしゃると思います。

先月、私は会場となる国家会展中心を下見する機会がありましたがとにかく広く、1日では全てのエリアを回りきることが出来ない

と感じました。その為、事前に関心のある出展企業をチェックしておき、その企業がどこのエリアに出展しているのかを調べておくことをお勧めします。

※出展企業や出品商品の下記博覧会のHPから検索が可能。(中国語及び英語のみ)

<https://www.ciie.org/ciie/f/exhibits-show/exhibits/list>

ただでさえ広い会場に加え、当日は大勢の来場者が見込まれていますので、時間と体力を無駄にしない為にも事前準備は必須です。会場の中にはマクドナルドや中華料理店など多数の飲食店やコンビニが出店していますので昼食時などにご活用ください。また、展示会場周辺には多数のホテルがありますが、予約で満杯になる可能性がありますので早めの予約をお勧めします。



(展示会場の外観と内部の様子)

＜最後に一言＞

冒頭でも述べました通り、博覧会の来場バイヤーだけですでに16万人に達しています。また、当初の会場の広さは21万㎡でしたが企業の申込社数が予想を遥かに超えたため、急遽会場を27万㎡まで拡大しました。しかし、それでも出展できない企業が多数存在しています。そして、早くも同博覧会の2019年度での出展企業の仮募集を始めている事が分かりました。この様に、全世界から注目されるイベントが、今年の11月に上海で行われようとしています。

中国国際輸入博覧会について詳しく知りたい方は、ひろしま産振構国際ビジネス支援センターや広島上海事務所までご連絡ください。